

おかやま創研

## 本社改装し労働環境改善 対話促進へワンフロア化



防音仕様の打ち合わせコーナーを備えた新オフィス

税理士法人おかやま創研（岡山市北区西古松2-24-5、村上喜郎代表社員）は、このほど、業務効率化や労働環境改善を目的に本社オフィスをリニューアルした。

テナント入居するYMビル1・2階（延べ約840㎡）を改装。1階に配置していた資産税チームを2階オフィスに集約し、ワンフロア化で部署間の情報共有やコミュニケーションを促進。1階には応接を兼ねたミーティング

ルーム4部屋と会議室を配置した。

オフィス内には、防音パネルで囲んだ打ち合わせコーナーや、オンライン専用ブースを設置。カフェをイメージした休憩コーナーも新設した。村上代表社員は「事務所と来客エリアを分けたことでセキュリティも高まり、場面に合わせて自由に働ける職場環境となった」と話す。

同法人では、2023年からフレックスタイム制を導入し、昨年ビジネスカジュアルで服装に幅を持たせるなど柔軟な働き方を推進している。

## 手形小切手帳発行終了 電子債権など促す

### 中国銀行

（株）中国銀行（岡山市北区丸の内1-15-20、加藤貞則頭取、資本金151億4900万円）は、来年3月末に手形帳と小切手帳の新規発行を終了する。

2026年度末までに手形・小切手機能を全面電子化する国の方針に対応したもので、顧客には代わりに法人ネットバンキングや電子債権、振り込みなどの利用を促す。

新規発行の終了後も取引先が保有している手形帳、小切手帳は引き続き利用できる。同行では今年4月1日に「当座預金払戻請求書」（1冊50枚、1100円）を新設。顧客は小切手の代わりに同行の取引店に持ち込み当座預金から現金化できる。

そのほか、顧客が遠隔地との取り引きで

同行以外の金融機関を手形、小切手の決済先とした場合、同行が先方の金融機関から取り立てて顧客に代金を渡すサービスも来年9月末で終了する。

### トマト銀行

## 9月に外為業務撤退

（株）トマト銀行（岡山市北区番町2-3-4、高木晶悟社長、資本金143億1000万円）は、9月末で外国為替業務から撤退する。

終了するのは、海外への送金や海外からの受領、信用状発行、輸入為替決済、輸出手形の買い取り・取り立て、外貨預金の新規口座開設、為替予約、外為ウェブサービスなど。

業務を効率化し行内の経営資源を再配分するのが狙い。フィンテック企業などの外為、送金サービスが充実し、利用者の

代替手段もあることから撤退を決めた。スルガ銀行（株）（静岡県沼津市）、（株）島根銀行（島根県松江市）、みずほ信託銀行（株）（東京都）など全国の地銀などで外為業務からの撤退が相次いでいる。

## 新社長に万代隆彦常務 安場社長は退任

### ナガセヴィータ

化学品専門商社・長瀬産業（株）（東京都）の子会社でバイオ企業のナガセヴィータ（株）（旧（株）林原、岡山市北区下石井1-1-3、資本金5



万代隆彦氏

億円）は、1月23日、新社長に常務生化学品事業部門長の万代隆彦氏が就任する人事を決めた。4月1日付。安場直樹社長は3月31日付で退任する。

技術、生産畑が長い同氏の社長就任で研究開発、生産面を強化する。同社が長瀬産業の傘下に入って以降、社長職は長瀬玲二氏、森下治氏、安場氏と長瀬出身者が続いており旧林原出身は初。

万代氏は岡山市出身。1984年岡山大学農学部を卒業し旧林原入社。岡山機能糖質工場長、生産統括部長、取締役生産部門長など歴任。63歳。

## 「岡山ラーメン本2025」過去最多188店紹介

### ビザビ

（株）ビザビ（岡山市北区内山下1-3-1、吉田大助社長、資本金3000万円）は、1月25日、「岡山ラーメン本2025」を発刊した。

2024年に新規開店した7店を含むシリーズ最多188店を掲載。デジタルマップを二次元コードから読み込んで使い、替え玉や大盛りなどに使えるクーポンが約100店分付く。

特集では今号の公式アンバサダーに就任した岡山出身の俳優・映画監督の前野朋哉さんが思い出の名店を紹介。



新規7店含む188店掲載

A4判、オールカラー104頁。価格は税込み1188円。

### アイチの高所作業車

## ロ-タス石井自工

岡山市北区十日市西町11-16 ☎232-1413